

# 特定非営利活動法人 子どもに無煙環境を推進協議会 理事会及び総会 議事録 (敬称略)

【日時】 2007年(平成19年)5月1日(火)午後2時30分から4時10分まで

【場所】 (財)大阪がん予防検診センター 5F会議室  
(大阪市城東区森の宮1-6-107 06-6969-6711)

## 理事会議事録(設立後第9回,通算20回目)

1. 出席者及び定足数の確認を行い,以下のように理事会は成立している。  
理事総数 18人  
出席者数 18人(委任状を含む),他に監事と顧問1人が出席
2. 議長に若林 明,書記に野上浩志を選出した。  
・議事録署名人として,議長,及び垣内みどりの2人を選出した。
3. 議長が,特定非営利活動法人 子どもに無煙環境を推進協議会の理事会の開会を宣言した。  
・若林 明会長から,以下の挨拶(要旨)があった。  
たばこ規制枠組条約が発効して2年余りが経過し,この1年には,禁煙治療の保険適用,タバコ税・値上げ,がん対策基本法の施行,健診と保健指導の制度化による疾病予防の動き,健康日本21の中間評価での喫煙率半減目標の見送りなど,様々の動きがあり,啓発事業を含め,会としての諸課題の取り組みが益々必要となっている。引き続きご協力をお願いしたい。
4. 各号議案について審議した。  
第1号議案 2006年度の事業報告が垣内理事よりあった。
  1. 「子どもの周りの無煙環境づくり」の啓発事業を行った(第19回継続事業)。
    - (1) 「タバコはやめよう! - 子どものために,みんなと自分のために」をテーマにコンクールを行った(ポスター,マーク,標語・川柳・ネーミング)。締め切りは2006年12月18日で,全国から,ポスターは1,877点,マークは408点,標語・川柳・ネーミングは11,532点,合計13,817点の作品が寄せられた。
    - (2) 啓発ポスターを制作したが(A3サイズ,8,000枚),経費や時期の関係でコンクールの案内は入れずに,コンクールチラシとセットで配布し,啓発コンクールの広報は,ネット,公募雑誌などでした(2006年8月~2006年12月)。
    - (3) コンクールの審査会を1月22日に行い,入賞を70点選定した。各部門の最優秀として,厚生労働大臣賞,文部科学大臣賞が授与され,大阪府内の優秀作品に大阪府知事賞,大阪府教育委員会賞が授与された。入賞者には,賞状と副賞の図書カードなどを送付した。  
成果&自己評価:2005年度は初めて啓発ポスターを作らなかったが,2006年度はコンクールの案内を入れない啓発ポスターを初めて作った(経費等の理由で)が,結果的には入れた啓発ポスターが望ましかった。広報と啓発についてはネットの活用の工夫が必要であったが,余力がなかった。応募点数は前年より少なかったが,全国規模のこのテーマの啓発兼コンクールはないこともあって,社会的需要はあるので,受動喫煙防止と禁煙推進の課題解決まで継続努力が必要と思われた。(以上,自主予算+ニコレット協賛事業)
  2. コンクールの入選ポスター,マーク,標語を活用して,2008年用カレンダー(B2サイズ)を8,000枚制作し(協賛:ニコレット),受動喫煙防止,がん対策基本法,

タバコ規制枠組条約等の広報・解説を盛り込んだ。

成果&自己評価：入選作品を各1点使用し、この種のカレンダーは無いようで、好評であった。

- 3．2006年5月31日の世界禁煙デーにあわせ、大阪・記念の催し「受動喫煙防止事例/禁煙治療の保険適用」を、大阪府医師会など四師会・大阪府・大阪市・本会の実行委員会主催で開催した（大阪府医師会館，参加者約230人）。

・内容は、受動喫煙防止の事例紹介（職場と高齢者集団生活施設における禁煙，高齢者介護医療施設などの喫煙と防火対策，禁煙レストランのインターネット紹介サイトの運営事例と全国状況，大阪府の全面禁煙施設の募集の結果），記念講演（禁煙治療の保険適用とその意義）

成果&自己評価：大阪でのこの催しは4回目で、実行委員会の立ちあげの2回目として関係機関が連携でき、平日（水）にも関わらず、前回よりも参加者が多く、内容も好評であった。

- 4．大阪府の委託事業「大阪・禁煙推進メーリングネットワーク事業」を前年に続き、運営した。参加者が100人弱とまだ少ないながらも、禁煙推進の動き（特に大阪府内）の情報交換や発信に活用した（3年目）。またイベントとして「タバコか健康か世界会議（7月にワシントンDCで開催）の報告会」を開催し、各自己紹介なども行い好評であった。

成果&自己評価：参加者増と広がり課題ではあるが、情報交換や発信に有用であった。

- 5．たばこ規制枠組条約（WHO-FCTC）の発効（2005年2月27日）の2年目として、日本における実効性推進のために、政府等に要請や提案（タバコ税・値上げ，禁煙治療の保険適用，自販機対策，内閣府規制改革要望，喫煙率低減のパブコメ，新健康フロンティア戦略，がん対策基本法，認知症施設の禁煙措置への意見等）を行う他，日本禁煙学会ホームページの禁煙治療の保険適用機関の掲載協力分担など，禁煙推進の諸課題に取り組んだ。

成果&自己評価：禁煙推進の世論づくりに努力し，今後の展開と成果につなげることができた。

- 6．無煙環境通信の発刊，スクラップ情報の提供，ホームページでの情報発信などを行った。

- ・以上の報告の後，自己評価書の説明があった。その後，以下の質問・意見があった。
- (1)自己評価は義務づけの動きがあるのか？ 答え...そのような動きはない。病院や認知症施設など第三者評価があるが，NPOは費用的に無理な実態があるので，まず自主的な自己評価とホームページでの公表が望まれると考えている。昨年から公表しているが，本会以外にはまだ殆ど例はないようだ。
- (2)禁煙推進の組織の違いなどについての質問があり，複数の理事から各々説明・発言があった。

・以上のあと，報告を異議なく議決した。

第2号議案 2006年度の収支決算報告が野上理事（会計担当）よりあった。

- ・啓発事業を助成+自主事業として実施した。
- ・また昨年設立されたNPO法人日本禁煙学会のホームページに掲載されている，禁煙治療の保険適用機関の掲載などを本会ボランティアの協力で行い，この関係費用は日本禁煙学会に負担いただいている，本会決算には入れていない。

・以上の報告の後，以下の質疑応答があった。

(1)啓発事業の自己資金の内容について 答え...会費やグッズ等入金の一部を充て

ている。

(2)複数の事業費を各々割り振って報告しなくても、認証庁報告は問題ないのか  
答え...一般管理費は各々の事業に割り振りが難しいし、これまで指摘はなかった  
し、収支計算書で問題はないよう。

- ・上記のあと、監査報告が簿監事よりあった。「事業運営及び会計処理を監査した結果、ともに適正であると認めます。」との報告を了承し、報告を異議なく議決した。

第3号議案 2007年度の事業計画が垣内理事よりあった。

1. 「子どもの周りの無煙環境づくり」の啓発事業を行う（第20回継続事業）。
  - (1) 「タバコはやめよう！」コンクールを行う（ポスター、マーク、標語・川柳・ネーミング、紙芝居・絵本部門）。締め切りは12月中旬、審査会は1月中旬に行う（予定）。
  - (2) コンクール案内を入れた啓発ポスター、及び啓発カレンダー2008年用を制作し、啓発と広報に努め、希望者に送付する（7月～12月）。
  - (3) 前回までの入選紙芝居・絵本を活用して、デジタル教材（ネット掲載）を制作する（助成がつかなければ自主事業として、予定）。
2. 2007年5月31日の世界禁煙デー・大阪記念の催し（5回目）を、本会も参加した実行委員会主催で、「受動喫煙防止と禁煙推進の現状・事例紹介」をテーマに開催する（健康おおさか21推進府民会議たばこ対策部会と共催、アピオ大阪）。
3. 大阪府の委託事業「大阪・禁煙推進メーリングネットワーク事業」を継続運営する（4年目）。
4. タバコ規制枠組条約の実効的対策に関連する要請や提案（がん対策推進計画、タバコ税、受動喫煙防止等）など、大阪府内を含め、禁煙推進の諸課題に取り組み、また関係諸団体と連携する。
5. 無煙環境通信の発刊、スクラップ情報の提供、関連事業、ホームページで諸情報を発信する。

第4号議案 2007年度の収支予算の説明が野上理事よりあった。

- ・事業予算の細目について説明した。啓発事業予算は、助成申請を製薬会社等へ協賛申請などに努力して、啓発事業を継続し、確保できた予算の範囲内で行いたい。一度中断すると再開できにくいので、社会的需要がある限り、やりくりして努力したい。
- ・助成申請または自主事業として、これまで発刊した紙芝居や絵本の絵をCD化し、文は添付して、液晶プロジェクターで上演読み聞かせができる教材を制作提供したい。
- ・健康増進法が2003年5月に施行され、またたばこ規制枠組条約が2005年2月に発効したが、受動喫煙防止、未成年者喫煙防止、タバコ税などの対策推進の課題がまだまだ多々ある。大阪ローカルの課題も含め、また全国的な視野で、関係機関と連携して、引き続き努力したい。
- ・以上の事業案、予算案について以下の意見があった。
  - (1)連携団体は、特に具体的な団体名は出さなくて良いのでは。 了承
- ・以上の意見・論議を踏まえ、上記2議案を異議なく議決した。

第5号議案 役員を選任について、野上理事より説明があった。

- ・役員任期は2年間（法定）で、今回は改選期ではないが、辞任届が大島明様と楠清曠様からあったので、お二人について辞任の承認と、新任について、高橋正

行様と上西洋二様の選任承認をお願いし、後の総会でお諮りすることをお願いしたい。(任期は来年5月1日まで)

- ・辞任のお二人について、顧問就任をお願いしては、との意見があり、理事会の総意としてお願いすることになった。(追記：後日お二人は固辞された)

6. 議事録に署名人が署名捺印をすることを確認し、理事会を終了した。

## 総会議事録 (第10回目)

1. 出席者及び定足数の確認を行った。

正会員数総数 18人

出席者数 18人(委任状を含む)、他に監事1人、顧問1人

2. 議長に若林 明、書記に野上浩志を選出した。

- ・議事録署名人として、議長、及び垣内みどりの2人を選出した。

3. 議長が、特定非営利活動法人 子どもに無煙環境を推進協議会の総会の開会を宣言した後、理事会の報告、各号議案の議決の報告が議長よりあり、全会異議なく議決した。

- ・新理事について、選任を全員異議なく承認し、高橋正行新理事と上西洋二新理事についてご本人の受諾があった。

- ・各々、自己紹介・挨拶、各々の活動報告などがあった。

- ・議事録に署名人が署名捺印をすることを確認し、総会を終了した。

4. 今後の日程等について、野上理事から説明があった。

- ・事業報告を、大阪府に近々提出する(期限は6月末)。

- ・5/31の世界禁煙デーの記念イベントを行うので、5/31の参加出席及び広報に協力をお願いします。

- ・諸要請に関しては、重要な案件はメールなどで諮るが、事業方針に沿う限り事務局で適宜会長とも相談して進めたい。

- ・必要があれば臨時理事会を開催するが、特にその必要がなければ、「お知らせ」で経過を逐次お送りして持ち回り理事会に替えたい。特に急ぐ場合は、ファクス・メール等で連絡したい。次年度理事会・総会を4月下旬～5月上旬に開催予定したい。

書記 理事 野上浩志 印

以上の理事会及び総会の議事録に相違がないので、署名捺印します。

2007年(平成19年)5月1日

議事録署名人 議長(会長) 若林 明 印  
自署

議事録署名人 理事 垣内 みどり 印  
自署